

事業名／担当部署	H27目標		H27実績	目標の達成率	評価	評価の理由	意見・提言など
1中津川市の未来を担う人材育成事業 教育委員会 学校教育課	①命の教育 全小中学校授業実施率	①100%	①100%	①  100%	○	・4項目のうち3つは目標を達成し、「市内de留学」が達成率50%だったものは実施希望がなくやむを得ない面もあるが、事業効果が十分でないと判断した。「市内de留学」の目標達成に向けた学校への働きかけなど今後の対策に期待する。	・命の教育は大切なもの。自己肯定感を育み、GSSSなどにも積極的に参加できる子を育てることにつながる。 ・GSSSに事業費の8割以上が充てられており、他の取り組みにも予算を使ってもらえるといい。 ・市内de留学は希望する学校がないなら必要性を一度検討すべき。 ・GSSSの名称を「なかつがわ・サマー・サイエンス・スクール」として中津川市を発信することを考えてほしい。 ・Uターンのきっかけとなった例があり、卒業生の追跡アンケートをしてほしい。
2小学校大規模改造事業（西小学校） 教育委員会 教育企画課	H27、H28年度2カ年計画 4,235㎡工事実施のうち 西小学校8号棟4階建て校舎2,617㎡	工事完了	工事完了	②  100%			
3子育て支援事業 教育委員会 子育て政策室	①子育て支援センター H30年度までに2カ所新設 ②子育てなんでも相談窓口開設準備	①H27設置目標なし ②支援員育成1人	①実績なし ②支援員育成1人	①  — ②  100%			
48万人のヘルスアップ事業 健康福祉部 健康医療課	①健康づくり事業参加者 ②特定健診受診率	①80,000人/年 ②60%	①31,911人/年 ②37.7%	①  39.9% ②  62.8%			
5地域活性化推進事業 定住推進部 定住推進課	①地域一括交付金制度設計 ②交付金充当事業数 33事業	①交付要綱制定 ②33事業	①交付要綱制定 ②33事業	①  100% ②  100%	○	・順調に進捗しているが、事業効果は、一括交付金制度が始まるH28年度以降に出ると判断した。	・地域活動の主体となるまちづくり協議会や区長会などの力をつけていく必要がある。しっかり支援を。 ・地域一括交付金の事業効果をアピールしていくことが重要。
6苗木交流センター整備事業 定住推進部 定住推進課	①苗木交流センター 完成 ②公民館利用者数 H30年度末25,000人	①H27年度完成 ②—	①H27年12月完成 ②H28から検証開始	①  100% ②  —	◎	・目標を達成し、完成した交流センターが供用開始され多くの利用があることから、事業効果が出ていると判断した。	・今後は利用者数の伸びをチェックしていくとよい。 ・他事業とのつながりを含め今後に期待する。 ・今後どういう形で活用していくのか、検証を。 ・市の開催する会議などでこの施設を使い、周知して利用を促すのも大事。 ・施設整備はお金をかけるべきところにかけて、かけなくていいところは減らす工夫を。
7市民協働推進事業 定住推進部 市民協働課	①協働に関する学習会開催 ②人材育成学習会の開催 ③団体交流と学習会の開催 ④域学連携地域数 H30年度末13地域	①3回 ②2地域 ③交流2回・学習会1回 ④新規3地域	①3回 ②2地域 ③交流1回・学習会1回 ④新規3地域	①  100% ②  100% ③  66% ④  100%	△	・ほぼ目標を達成しているが、「団体交流と学習会の開催」が達成率66%であり、取り組みとしても学習会の開催などにとどまっていることから、事業効果が十分でないと判断した。目標達成に向けた取り組みの見直しが必要。	・地域の課題にどう取り組むかを具体化すると上手く進捗するのではないか。 ・学習会が終わったらそれっきりになっていないか。今後、この学習会や交流会が元となり、各地域に根付いて発展していくことに期待したい。 ・域学連携は各地域の実情が違うので取り組む地域を選定すべき。 ・域学連携は取り組む地域数ではなく、何に取り組むかが重要。
8こどもの夢推進事業 文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課	①少年団加入率 ②子ども金メダル授与 ③夢の教室実施率	①12% ②240人 ③100%	①11.5% ②243人 ③100%	①  96% ②  100% ③  100%	◎	・目標をほぼ達成し、スポーツに親しみ、夢を持ちたいという子どもが増えていることから、事業効果が出ていると判断した。	・長い目で見て、改善することがあれば変えながら実施を。事業自体は継続することで効果が出るものとする。 ・子どもに何かスポーツをやらせたいという夢があるので、就学前の若い親さんに声をかけるといい。
9消防設備整備事業 消防本部 消防総務課	消防署車両、消防団車両・ポンプの更新	署2台 団4台、ポンプ2台	署3台 団4台、ポンプ2台	①  100%	◎	・目標を達成し、車両更新により消防力を発揮する体制を維持していることから、事業効果が出ていると判断した。	・命を預かる大切な事業なので、早めの車両更新を。 ・より効果のある配置をお願いしたい。 ・よく走る車両と走らない車両を配置換えするとか、効率的な運用を考えてもらいたい。
10消防施設建設事業 消防本部 消防総務課	①消防団器具庫の統廃合 ②防火水槽の設置	①付知分団器具庫 2カ所を1カ所に統合 ②H27設置目標なし	①付知分団器具庫 1棟新築 ②実績なし	①  100% ②  —	◎	・目標を達成し、効率的な消防団活動を推進していることから、事業効果が出ていると判断した。	・位置や規模など地域の実情に応じて、器具庫の建設、統廃合をしてほしい。
11ごみ減量化・資源化推進事業 生活環境部 環境政策課	環境センターに搬入されるごみ量	25,813t/年	26,085t/年	 87%	○	・部会では、これまでのごみ減量の推移から効果が出ていると捉えたが、全体の委員会で検討した結果、目標を達成できておらず、事業効果が出ているとまでは言えないとの結論に至った。	・ごみ処理費用を市民に数字で示し、他市と比較をしながらわかりやすく説明して市民の理解を求めることが必要。特に学校で子どもに学ばせるといい。 ・分別しやすい資源ボックス等を増やしてはどうか。 ・地区別でごみの排出量を競ってはどうか。 ・町内会の会合で使える資料の作成を。市民が自分たちに何ができるかを考えるように促してほしい。 ・企業の生産活動推進の観点から、事業所のごみ減量には配慮が必要。
12リサイクル施設整備事業 生活環境部 環境センター	リサイクルセンター本体建設工事	H27年度完成	H28年3月完成 4月供用開始	 100%	◎	・目標を達成し、資源ごみ排出量に応じた適正な処理能力のある施設として稼働していることから、事業効果が出ていると判断した。	・パンフレットが機械の写真だけで無味乾燥、写真と数字だけでは市民に伝わらない。資源ごみを処理した後どうなるのかをわかるようにしてほしい。 ・リサイクルの全体像を市民に示し、意識付けを。 ・完成して終わりではなく、施設見学など市民に資源化について意識を高める取り組みを。

NO.	事業名／担当部署	H27目標		H27実績	目標の達成率	評価	評価の理由	意見・提言など
13	若者の地元定着推進事業	新規学卒者の市内企業就職者数		250人/年	235人/年	94%	◎	・大学生に向けては市職員の出身大学へ声をかけてみてはどうか。 ・積極的に採用する企業への支援の充実を。 ・新卒だけでなく1年以内に離職してしまう若者も追跡調査して、定着を促してほしい。 ・就職説明会などで小さい事業所がうまくPRできるよう、市が支援してほしい。
14	農地・担い手対策事業	①農地中間管理事業の集積面積(累計)	①118ha	①137ha	① 100%	△	・3つの目標のうち事業の根本となる耕作放棄地の解消が未達成となっているため、進捗が順調でなく、事業効果が十分でないと判断した。 今後の取り組みの強化が必要。	・NPOなどが耕作放棄地の受け手として積極的な展開ができるとよいのでは。 ・耕作できなくて相談された農地がすべて受け手に渡る方法を考えてほしい。 ・耕作放棄地の解消と担い手支援を分けて考えてはどうか。 ・若者が農業に参加できる対策も考えてほしい。
		②耕作放棄地解消面積	②2ha/年	②1.7ha/年	② 85%			
		③新規就農者数	③3人/年	③3人/年	③ 100%			
15	1000年の森 磨き上げ事業 (温帯性針葉樹林)	①イベント等でのPR	①5回/年	①7回/年	① 100%	○	・目標を達成しているが、PR事業の初年度であるため、事業効果はH28年度以降に出ると判断した。	・行政、産直組合とのタイアップが重要課題。 ・事業名の千年の森という名称が伝わりにくい。 ・ブランド力の強化に特化し、市外へしっかりPRしてほしい。 ・市民にも地域産木材のPRを。テレビやマスコミで宣伝してもらおう工夫をして。 ・官民挙げてPRを進めてほしい。
		②地域産材を使った建築棟数	②60棟/年	②H28から検証	② —			
16	中津川オリジナル次世代住宅 推進事業	H26年度末に事業凍結の方針決定		—	—	×	・事業着手に至らなかったため。	・発想はいいが、建築事業者などが踏み込めないと実現できない事業。 ・耐震住宅等と組み合わせることも有効か。 ・時機を見て、また計画してみてもよい。 ・市内産の資材と市内事業者だけでやるのはコストが高い。外から人を呼び込むには古民家のような田舎の良さを生かして、かつ利便性が高いものを考えるといい。
17	青木斧戸線(中津531号線) 道路整備事業	①工事施工延長	①30m工事实施	①30m工事实施	① 100%	○	・目標を達成し、地元への配慮、防災面での必要性などを考慮し、順調に進捗しているが、事業効果は完成まで出ないと判断した。	・H31年度完成に向けて事業に遅れが生じないようにしてほしい。 ・用地買収を予定通り進めて欲しい。 ・予算どおりで納めることが大事。橋の架け替え事業もそうだが、事業にとりかかってしまったから予算が増えても作る、という取り組み方ではない。
		②自動車走行時間短縮率	②青木斧戸線44% ・駒場線67%	②完成後に検証	② —			
18	付知中央橋架替事業	上部工完了	完了延長L=156.5m	完了延長L=156.5m	100%	○	・目標を達成し、順調に進捗しているが、H28年9月完成のため、事業効果はまだ出ていないと判断した。	・開通すれば交通利便性の面で事業効果はあると思う。 ・今後の事業効果の検証が必要。 ・中津川市は東海地震等の指定地域なので、架け替えを必要とする危険性のある橋梁を優先的に実施してほしい。
19	体験型観光推進事業	①体験メニュー参加者の宿泊者数	①25人/年	①28人/年	① 100%	◎	・目標を達成し、順調に進捗しており、H27年度に実施した体験メニュー参加者の宿泊や滞在について事業効果が出ていると判断した。	・サイクリングツアーでどんな体験ができるかをPRすべき。 ・プログラムを増やして充実していけばよい。 ・キャンプ場利用者が増えているので歌舞伎体験を案内してはどうか。 ・体験の講師は大勢いるので参加をお願いするといい。 ・参加した人の満足度を把握するアンケートを実施し、次につながる情報を得て検討していく方がいい。 ・PR費用が限られているのであれば民間を上手く利用して効果的にやってほしい。
		②体験メニュー参加者の延べ滞在時間数	②4,000時間	②4,326時間	② 100%			

注 理念: 中津川市総合計画(平成27年度から平成38年度)の将来都市像「かがやくひとびと やすらげる自然 活気あふれる 中津川」実現に向けて掲げた3つの基本理念
NO.: 部会報告書(6～29ページに掲載)の当該事業を示す番号
総合評価: ◎: 効果的に実施されている ○: 順調に進捗 △: 進捗の遅れへの対応または事業内容の見直しが必要 ×: 事業実施自体の見直しが必要
※1 GSSS: 岐阜・サマー・サイエンス・スクールの略称